

た

「た行」の天草方言 「天草方言集 鶴田 功著」

…た …たー …さ だな …ですよ 「良かたこれたー」

…だ …しようよ 「しゅうだ」

…だ …位は …共は …達は 「きゅうだ・わっだ」

…たー …ではないか 「来んたー」来ないではないか

…たー …なのか …なのだ 「高級品たー」

…たー …なのは 「派手かたー駄目」

だー だーだー さあ そら では どれ ほれ 「だー遣れ」

…だー …だろう …しようよ 「じゃろだー」

…だー …位は …共は …達は 「飯だー喰うて行け」

…たーいわん …とは言わない それ以上だ

だーが だが だっが だりが だるが【誰が】

だーがいうた だがいうた 誰が言ったか

だーがしたっか だーがしたとか 誰がしたのか

だーがせー【誰の所為】 誰の責任か 原因は誰だ

だーがつ だーがと だりがと だるがつ【誰の物】

だーがっじゃい だーがっじゃいろ 誰の物やら

だーがんな だりがとな だるがつな 誰の物ですか

…たーしながら であるが故に であるばかり

たーちーなる たーちなる 二才になる [ふ] の省略

たーつ【二つ】 二才 [ふ] の省略

たーった【多々】 ②常々 何時も ③次第に 徐々に

だーっちゃ だっちゃ だっでん だりっちゃ だれっちゃ だれでん

誰だって 誰でも

だーっちゃ だけど だって《大多尾》

たーっで【二人で】 共同で [ふ] の省略

たーつとおちーなす 二つを一緒にする [ふ] の省略

たーつとめ たーつとめ【二つ共】 二人共 [ふ] の省略

たーつぶせ 二つ違い 「みっつぶせ」

たーり【二人】 一組 二名 兩名 [ふ] の省略

だーり だーる だりかい だるかい 誰だい

…たい …ですか 「残業たい？」残業ですか

…たい …ですよ …するといいよ なさいよ「休むたい」

…たい …さ …だよ だな …ですよ 「良かたい」

…だい …しよう 「寝ゅうだい」

だいおうじょう 古語【大往生】 見事な死きわに際

たいが たいぎゃ たいげ《京》 たいげえ【大概】 generally 大層 随分

②大略 あらまし 程々 並に

だいか 誰か《牛深》〈れ→い転音〉

だいかおいとな 誰か居るのか《牛深》〈る・れ→い転音〉

たいぎじやった 古語【大儀】 重大な儀式 ②ご苦労だった

たいぎゃ【大概】 たいげ《五和》 大抵 大変 随分

たいぎゃたいぎゃ たいげたいげ《五和》 大雑把 **rough** 大略 程々
凡そ いい加減

たいぎゃたいぎゃせろ いい加減にきなさい

たいくつしのぎ【退屈凌ぎ】 退屈を紛らわす 暇潰しで

だいけん だけん だるけん だから

だいこんかまんかん 大根を食べないか (冷やかし)

たいしょ たいしょう【大将】 **general** 主人 親方 店主 頭領 ②無頓着

たいせ一つ【大切】 **importance** 大変だ とんでもない事だ

たいそ【大層】 **very** 大分 随分 より ②大袈裟

たいそうに 沢山に **enough** 非常に ②大袈裟に

たいそよか 大分良くなった 随分回復した

たいたい《日ポ・京》 たいたいで 古語【対々】 対等で

たいて《京》 たいてにゃ【大抵】 大方は ほとんどが

だいでんかいでん だいもかいも【誰も彼も】《牛深》

…たいな …たいね …たいの …だよね

だいなしーにゃーた【台無し】 使い物にならなくなった

たいへいらく【太平楽】 好き勝手な言動

たいまつ 古語【松明】 **torch** 松脂を炊いて照明にしたもの

たいや 古語【逮夜】 命日の前夜

たいらぐる たいらげる 食べてしまう ②退治する

たうえ 古語【手植え 田植え】 稲苗を植え付ける

たおこし【田起こし】 田を耕す 土を鋤き返す

たおつとる 撓んでいる 曲がっている 弛んでいる

たおる 古語【手折る】 **pluck** 手で折る ②手込めにする

たおる 古語【撓む】 弓状に曲がる

たおるる【倒れる】 **tumble** 傾斜する ②目方が減る

たか【和凧】 凧 **kite** 「たか揚げ」凧揚げ

たが 古語【箍】 **hoop** 桶の輪 《京》

たがう 古語【違ふ】 **differ** ②約束を破る ③関節がずれる

たかか たきゃー たけー たっか【高い】 **tall** 背丈が高い 高価だ

たかが たかだか どんなに高く見ても 精々

たかがしれとる 高々知れている 大した事ない

たかさー たきゃーもん たけーもん 高いな ②高価だな

たかざるき 遠くまで遊び回る

たかつとる たかれとる 古語【集る】 虫や鳥などが群れている

たがね【鑿】 金属や石を切る鋼鉄の鑿

たかねノけんぶつ 高嶺の見物 眺めるだけで届かない
たかのぞみ 実力や才能と不相応な大きな望み
たかぶる 古語【高ぶる】 偉そうに威張る ②興奮する
たかぼうき【竹箒】(掃除用具)
たかまくら 古語【高枕】 **peaceful sleep** 安眠 熟睡する
たかやぶ たかやぼ【竹藪】
たがらおとし たがりおとし 田植え後の農休日
たかる たかるる 古語【集る】 **gather** 虫や鳥などが群れる
たかる 強情る **blackmail** 強要する
たかれとる たかるる 群れている
たがわする 古語【違ふ】 捻挫する 脱臼 外れる 捏る
たがわん 違わない 間違いが無い
たがンうっぱずる 古語【箍】 **hoop** 桶の輪が外れる ②節度がない
たかンばっちょ 古語【ばってう笠】 真竹皮製の笠
たきつくる 古語【焚き付ける】 着火する ②煽動する
たきつけ【焚き付】 着火材 ②煽動
たきもん【炊き物】 炊き枝 粗朶 **faggot** 薪 **fuel** 《京》
たきゃー たけー【高い】 丈が高い 高価だ
たぎらかす 古語【滾らかす】 沸かす 煮え立たせる
たぎらきゃーた たぎらけーた 古語【滾らす】 煮立てた 沸かした
たぎる 古語【滾る】 **boil** 煮え立つ 沸騰する 高温になる ②気が昂ぶる
たきわる〈炊き割る〉 空炊きする ②破産する
たく【炊く ②焚く】 煮る **boil** ②薪を燃やす **burn**
だくいー だっか【楽だ】 大人しい
たくう たぐう 古語【貯ふ】 貯える 蓄える **store**
たくうとる 蓄えている 貯蔵している 備蓄している
たくしあぐる 手繰り上げる 捲り上げる
たくはつ【托鉢】 僧が鉄鉢を持って家々を廻り米などの施しを受ける
たくぼりひくぼり 出たり引っ込んだり 凸凹
ダクマ 手長海老 (川海老の一種)
たくりかるぐる 古語【手繰り絡げる】 裾を折り曲げる
たぐりよする【手繰り寄せる】 両手で引き寄せる
たくる 炊ける 「飯炊くるささ付いとけ」
たくる たぐる 古語【手繰る】 手元へ引き寄せる《京》
…たくる 繰り返す …放題 …しまくる 「塗ったくる」
たくるる たくれる 捲り上がる 皺になる《日ポ》
たくわえ【貯え】 **store** 貯蔵物 貯金 **savings**
たくわゆる 古語【貯ふ 蓄ふ】 **store** 貯蔵する
たくを一とく 貯わえておく **store** 貯蔵しておく
たけなわ 古語【酣】 **height** まっ最中 最盛期

たける 古語【^{たけ}唳る】shout ^{うめ}呻く moan ^{うな}唸る 苦しむ

だけん だるけん だから であるから

たけんこ【^{たけのこ}筍】 竹の地下茎から出る若芽

だけんじゃん だけんたー だからですよ

たけんそんぎゅー たけんそんくい 竹の杣 竹の刺 切株

たけんたっか 丈が高い 身長が高い ②高い所

たけんたわん 丈が及ばない 高さが届かない

だけんなんな だけんなんや だからなんと言うのだ

たけんぼんがら《有明》 たけんぼんぎり【竹筒】

たけんま【竹馬】(遊具)《京》

たこ【^{たこ}胼胝】 手足の皮膚の一部が硬くなった状態

だご【^{だご}団子】《京》 「だごじゅる」団子汁

たこう【^{たこう}高く】 ②高値に《京》

たこうい たこうして たこうて 高くて 高いので

たこうげん たこうに たこに 高く 高めに

たこうたこう たこたこ【^{たこうたこう}高く高く】 更に高く (重複強調)

たこうちーた 代償が高かついた 高価な買物

たこうつく たこつく《京》 高くつく

たこうなった 高くなった ②高価になった

たこうひくう 高低差をつける 凸凹に

だごじゅり だごじゅる だごじる【^{だごじゅり}団子汁】 水団 ^{すいとん} 麵料理 汁物

たことった〈^{たこと}鯛捕った〉 ②^{つまつ}躓いて倒れた

だごんごつなる 一カ所に固まる 凝縮する 密集する

だごんは【^{だごん}団子の葉】 サルトリイバラの葉

ださっせば だしなっせば だしなはれば お出しになれば

ださっそうば お出しになられるのであれば

だされん だせん 出せない ②出すことができない

ださん だせん 出さない ②出す訳にいかない

ださんば 出さなければ ②出しなさいよ

だし【^{だし}出汁】stock 煮出し汁 broth ②手段 方便 means

たしーなる 足しになる 糧になる 役立つ

だしかえる だしかゆる 立て替え払いする

だしかぶる 他人の勘定まで払う羽目になる

たしきゃー たしけ 古語【^{たし}確か】firm 確實 間違いなく

だししびる だししぶる〈^{だし}出し渋る〉 出し惜しみする

たじたじ 恐れてたじろぐこと 引けをとる

たじなか 古語【^{たじ}足し無し】 物が不足する 乏しい

…た しながら …であるが故に …とは言え

だしなさる だしなす だしなはる お出しになる

たしなむ 古語【^{たし}嗜む】like 好んでする ②慎む 我慢する

たしなむる〈窘める〉 反省させる 戒める
だしならん 出せない 出すわけにいかない《御所浦》
だしノとおか だしンとおか 木材などの搬出距離が遠い
だしまえ【出し前】 だしめ 出費 負担金 ②割前 割当
だしゃーされず だしゃーせーず 出さないのですよ
…たしゃーする …したがる 「見たしゃーする」
たしよ 古語【他所】 余所 別の所《京》
たしよんしー たしよんもん〈他所者〉 余所の人
たじろぐ 古語【たちろく】 **flinch** ひるむ 尻込みする
たすけびより 天気が持ち直す 天候が好転する
たずる たでる 患部を薬や湿布で浸す《日ポ》
たぞう〈田族〉 古語【族】 近隣耕作者仲間
だだ【駄駄】 子どもが甘えて我が儘を言う 地団駄《京》
たたき【三和土】 粘土+石灰+塩+にがりを叩き固める
たたきおこす【叩き起こす】 無理に起こして目覚めさせる
ただごっじゃか 古語【徒事】 普通でない 尋常でない
だだこぬる 我がまを言う ②言うことを聞かない
だださがる 興ざめする がっかりする 見損なう
たたじる 叩いて固める 打ち固める 「雨ンたたじる」
たたずむ【佇む】 その場にじっと立ちつくす
たたっくやす【叩き壊す】 打ち壊す
たたったった 祟りを受けたのだ 怨霊の報いを受けたのだ
たたっとった 祟りを被っているのだ
たたっぴしゃぐ 叩き潰す
だだっぴろか 何もなくてやたらに広い 殺風景
ただばたらき 無報酬で働く
ただめしぐい ただめしぐらい 居候 厄介者
ただもん【只者 徒者】 凡人 普通の人 並の人 尋常の人
ただもんじゃか ただもんじゃなか 凡人ではない
たたり 古語【祟り】 **curse** 呪い 悪事の報い 災い
ただるる【爛れる】 **be sore** 皮膚が化膿してくずれる
たたん 立たない 経過しない ②勃起しない
ただんごたる 無料同然だ 値段が安い
たち【質】 **nature** 性質 性格 **personality** 天性
だちあかん だちいかん【埒】 埒はかど 埒さば 埒がない 捌けない
たちかくる 立て掛ける
たちくらみ たちぐらみ 目まい 貧血《京》
たちげ たちげみ〈立毛見〉 農作物の生育状況 収穫予見
たちすくむ 古語【立ち竦む】 立ったまま動けない
たちずくめ たちっぱなし 長時間起立している

たちどころに 古語【立ち所に】 直ちに **directly** その場で
たちはたがる 古語【立ちはだかる】 手足を広げて立つ 立ち塞がる^{ふさ}
たちまちづき【立待ち月】 十七夜の月
たちやーた たてーた《佐伊津 五和》【叩いた】
たちやっくれ 叩いてくれ「背中叩やっくれ」
だちん 古語【駄賃】 **reward** 労働報酬
たつい《牛深》 たつる 立てる ②建てる
たっか【高い】 丈が高い 高価だ
だっか【^{おた}穩やか】 ゆったりしている 大人しい [ら]の転音
だっか だっかい だっきゃー だりけー だるかい【誰か】
たっかるじゃー たっかるでー 高価だろうに 高いだろうに
たっかるだい たっかるばい 高価だろうな
だっこつき【脱穀機】《京》
だっじゃいろ だっじゃろかい だっちゅかい 誰だろうか
たっしや《京》 たっしやか 古語【達者】《梵語》 壮健 **healthy** 元気
たっしやからすな たっしょうあんなすな 達者ですね
たっしょしとんなすか お達者でしたか お元気でしたか
たった たったの 僅か **a little** 些か《京》
たったいっちょどん 僅か一つ位 僅かそれしき
たったいま 少し前 今し方
たったがしこ たったぎやしこ 僅かこれだけ
たったっかい たったったい たったとね 足りたのか
たったりーろ たったろかにゃ たったろかね 足りただろうか
だっだりー だっだりな だっだりね だっだりや だっだんな 誰々か 誰と誰か
たっち たっちたっち 立つこと (幼児語)
だっちゃ だっでん だりっちゃ だりでん だれっちゃ だれでん
誰でも 誰だって
だっちゅうこたなしー だっとはのう だっとはなし 誰と特定なく
たっつらかす【垂れ散らす】 垂れ流す
だってるさん 誰某^{ぼう} 何某 誰々さん
だってるんかってるん 誰とか彼とか 不特定の人 ②大勢
だっでん だれしも 古語【たれしも】 誰でも 誰もが
だっでんかっでん 誰と言うことはなく 誰でも彼でも
たっどかい たっどかにゃ たっどかね たりーろ 足りるだろうか
たっどけ たっどれ 立っている
だっどみ だっども だっどん【誰共】 誰たち
たっどもん たろうもん 足りるでしょう
たっとらす (仏像が) 建立されている 立っておられる
たっとる 立っている 建っている ②経過している
たづな 古語【手綱】 **bridle** 馬の轡^{くつわ}につけて馬を操る綱

だつノよか〈質〉^{たち} 品質が良い 製品が良い
たつる 古語【立つ】 立てる
たつる 古語【建つ】 建てる 建築
たづる たでる 患部を薬や湿布で浸す《日ポ》
だて 古語【伊達】 **dandy** 派手 **gaiety** 粋 **smart** お洒落
たてかゆる 代理で支払う ②更新して建てる
たてくうどる たてこうどる たてこんどる 混雑している
たてこむ 建物が密集する 混雑する 雑踏する《京》
だてする 古語【伊達】 お洒落する めかす
たてつく 古語【楯突き】 逆らう 反抗する 刃向かう《日ポ》
たてつづけ 間断なく 引続いて 休みなしに
たてとる 地位につけて敬意を払っている
たてまえ【建前】 棟上 上棟 ②原則 方針 **course**《京》
だてら だてりゃ 身分不相応に 似つかわしくない
たとうし 古語【^{たとうかみ}畳紙】 着物を入れる厚手の和紙 ②懐紙
たとうだ【畳む】 折って重ねた 閉じた 閉店した
たどたどしか 不確か ^{おぼつか} 覚束ない 自信が無い
たとむ【畳む】 **fold** 折って重ねる ②閉じる《京》
たどる 古語【辿る】 **trace** 探り求める 尋ねて探す 探す
…たな …たない …たね …たの …たのい …するといいよ 「来たな」
たなぎょう【棚経】 お盆に僧侶が檀家を回って読経する
たなごごろ 古語【^{てのひら}掌】 **palm** [た]は手、[な]は[の]
たなだ【棚田】 たんだ 山間地の段状の田圃
たなびく 古語【棚引く】 雲や霞が長く連なる
たぬぎ たのき 《京》たのぎ【狸】 **badger** イヌ科の哺乳動物
たぬうで《佐伊津 五和》 たのうで【頼んで】 依頼して
たねあぶら たねンあぶら【種油】 菜種の油
たねバひねる たねひねる 種を蒔く 播種する
たねよする【種付けする】 交尾させる
たねんま【種馬】 **stallion** 繁殖用の優秀な牡馬
たのうでみゅーだ たのンみゅーだ 頼んでみよう
たのえ 田の除草や中耕などの農作業
たのしゅうで 楽しんで
たのみぎゃーんなか たのみげーんなか 頼み甲斐が無い
たのみやす たのんます お頼みします お願いします
たのもしこう【頼母子講】 講 相互無尽講
たのんもす〈お頼み申す〉 [頼む]の丁寧語
タバコ 《ポルトガル語》 **tabaco** 【煙草】 **tobacco**
たばこする 休憩する 中休み 途中休憩
たばけーしゅうだ 煙草休憩 一休みしよう 休憩 **rest**

たばぬる 古語【束ねる】 **bundle** ②取り仕切る まとめる
だばら〈駄腹〉 駄馬みたいな大食家
タビ タブ【楯】 タブノキ クス科の常緑樹
タビ タブ 魚をすくう網
たびふむ 足袋を履く
たびゅうい たびゅうかい たびゅうだ たびゅうわい 食べよう
だぶだぶ だぼだぼ〔擬態音〕 大き過ぎてゆとりがある
だぶつく ゆとりがある 量が多すぎる
たぶらかす 古語【誑かす】 **cheat** 騙す^{あざむ} 欺く 誤魔化す
たぶらきゃーた …けーた 騙した 欺いた 誤魔化した
たぶる【食べる】 食事する 召し上がる
たふんたふん〔擬態音〕 水などが容器で揺れ動く
だまーって【黙って】 ②断りなく 無断で
たまーにや たまにや 時には 時々 傍らには
だまかす だまくらかす【騙す】 **cheat** 誤魔化す ②宥める《京》^{なだ}
たまがった たまげた 古語【魂消た】 驚いた びっくりした
たまがらかす 驚かす びっくりさせる
たまがらきゃーた たまがらけーた 驚かせた
たまがらん 驚かない 動揺しない
たまがる 古語【魂消る】 驚く **surprise** 《日ポ》^{たまぎ}
たまぎる【矯める 玉切る】 材木を適当な長さに切り揃える
だまくらきゃーて だまくらけーて【騙して】 要領良く
たまさか 偶然に まれに ②時たま **sometimes**
だまさるる 騙される 誤魔化される 欺かれる
たまし【人魂】 霊魂 **soul** 火の玉 ②精神 **mind** ③気力 **energy**
たましごつつ たましごろ 気が利いている子供 利発な子
だましすきゃーて 子供に虚言で諦めさせる 騙す **soothe**
たまったもんじゃか たまらん 限度を超えている
だまっとけ だまっとれ 黙れ 黙っている しゃべるな
だまっとる 貯まっている ②溜まっている
だまっとる 黙る 黙っている しゃべらない
たまとる 子猫がじゃれる様子《京》
たまに《京》 たまにや【偶には】 時たまには 希には
だまりこくる 硬く口を閉ざす
たみな【田蜷】 田ニナ
だみゃーて だめーて 騙して ②要領良く
たむくる 古語【手向く】 神仏に物を供える 餞別をやる
たむる 古語【貯む】 貯める 貯金する
たむる 古語【溜む】 溜める 水を溜る
ためいけ【溜め池】 堤 **bank** 用水池

ため一ならん【為】 利益にならない ②役立たない

ためくうで ためこうで 貯め込んで 十分貯えて

たも たもあみ 掬い網 たも網

…だもん だもんな一 …ですよ 《御所浦》

たもんなっせ 古語【賜る】 賜る 頂く ②頂戴な 下さい

たゆる 古語【絶ゆ】 絶える 途絶える 途切れる 続かなくなる

たゆる 古語【耐ゆ】 耐える 堪える 我慢する 辛抱する

だら 古語【陀羅】 阿呆陀羅經を文字った 馬鹿《京》

だら だらごえ 下肥 人糞肥料 《京》

だらくる だらける 《日ポ・京》 だらしがなくなる

…だらけ …で一杯 …まみれ 物が沢山ある 《京》「泥だらけ」

たらし たろんべ たるき 古語【垂氷】 icicle 氷柱

…たらしか 語彙を強調 「憎たらしか・惨たらしか」

たらし【誑し】 たらしこむ 誑かす 若い異性を騙す「おなごたらし」

だらしか だりー【懈い】 古語【怠し】 体がだるい ものうい

かったるい 倦怠感

だらしなか 節度がない しまりが無い

たらたら だらだら [擬態音] 液体がこぼれ落ちる ②長く続く ③締まりがない

たらん たりん 足りない 不足する 値しない 知恵が無い

たらんたらんで 不足がちで 不足気味で

だり だりかい だりきゃ だりけ だりな だるかい 誰だい

たりーろ たるりーろ 足るだろうか

だりがとね だりがつね だがんな 誰の物ですか

だりかりなしー だれかれなしー 誰彼と特定しないで

たりくさか 古語【足り臭し】 足りそうにない

だりっちゃ だれっちゃ だれでん 誰でも 誰だって

だりも だるも だんも【誰も】

だりもかりも だるもかるも【誰も彼も】 誰しも

たりゃー たれー 古語【盥】 洗濯や手洗いに使う丸容器

だりやすみ だるやすめ【懈止】 疲労回復 晩酌

だりやみ だるやみ だれやみ【懈止】 疲労回復の晩酌

たる【足りる】 充足する

だるか【懈い】 古語【怠し 懈し】 疲れる 覇気がない《日ポ》

だるか【誰か】 誰だ 《有明》〈れ→る転音〉

たるき たらき《茶北》 たろんべ 古語【垂氷】 氷柱

だるけん だから であるから

たるしこ たるだけ 足りるだけ

たるしこなか 足りるだけの物が無い

たるびらき たるびろう【樽披露】 婚約を披露して祝宴をする

だるもかるも【誰も彼も】 誰しも《有明》〈れ→る転音〉

だるやみ だれやみ【懈止】 疲労回復の晩酌
たるる 古語【垂る】 垂れる 排泄する(脱糞 放尿 ほうひ 放屁)
②〔言う〕の卑語「文句たるる」
だるる だれる【怠い 懈い】 疲れて弛む《日ポ》
…たれ【垂れ】 不要物 「糞たれ」「馬鹿垂れ」
たれかぶる【垂れ被る】 下痢する ②鼻汁を垂れる
だれしも 古語【たれしも】 誰でも 誰もが
だれた【懈い】 疲れた 体がだるい 緊張が解れた
だれっちゃ だれでん 誰でも 誰だって
たれとらん たれん 垂れていない
たれとる 垂れている 下げる ②滴る drop
たれなぎゃーた たれなげーた 垂れ流した
…たろ …たろう …たろば …なら …ならば 「来たろ」
だろたいなー だろもんなー でしょうね
…たろもん? …したでしょう? 「見たろもん」
たわくる 古語【戯く】 戯れる joke 戯ける
たわけ 古語【戯け者】 馬鹿者 おろか者 阿呆《日ポ》
たわごつ たわごと 古語【戯言】 ふざけたことば
たわす【倒す】 伐採する ②病気になる
たわみ 古語【撓み】 折れ曲がり しなやかな曲がり
たわるる【倒れる】 転ぶ 破産する ②目方が減る ③病気になる ④死ぬ
たわん 届かない 及ばない 「手のたわん」
…たん …だん …だよ …ですよ 「良かたん」 良いよ
たんあぜ〈田の畦〉 土を盛った田の仕切
たんがく たんぎゃく 古語【谷藁】 蝦蟇 殿様蛙
タンガネ 沢ガニ
たんがる たんぐわる【魂消る】 驚く びっくりする
たんきもん【短気者】 気が短い人 我慢が出来ない人 怒りん坊
たんくさと 田の除草作業
たんご 古語【坦桶】 担い桶《日ポ・京》
だんこえ【駄ン肥】 駄馬の糞 厩肥 牛馬の敷藁で作る堆肥
たんこぶ 頭を打撲して出来た大きな瘤
だんじゃか だんじゃなか する状況でない それ処ではない
たんしょうもち たんしょもち 喘息患者
だんだん【段々に】 次第に 徐々に 漸次 short time
だんだん 有難う thank you 重畳
たんと【tannto】 沢山 《日ポ・イタリア》
たんとたんと【tannto】 もっと沢山《日ポ・イタリア》
たんとき〈短時〉 端的 即座に 直ぐ様 手っ取り早く
だんどり【段取り】 準備 手筈 arrangement 手順 process 《京》

「だんどんノわるか」

だんな【旦那】 **master** 親方 亭主 **husband**

たんなか【田の中】 田圃 **rice field**

だんなつと 誰なりと 誰か どなたか

だんなんさま 旦那 **master** 親方 亭主 **husband** ②金持ち

だんなンし 古語【旦那衆】 主人 身分が高い殿方

たんぬる たんねる《日ポ・京》【尋ねる】 問う

たんねんど たんねんみろ 尋ねてご覧

だんノやすまるごて〈懈^{たる}〉 疲れが取れるように

たんびたんび たんびに たんべんに【度々】 再々《京》

たんぺいきゅうに【短兵急】 性急に 直ぐさまに

だんぼ どぶ 下水 汚水溜まり ぬかるみ 潟 泥沼《佐伊津》

だんまり 薪の束《新和》

たんもん【反物】 着尺 呉服《京》

[トップページへ戻る](#)